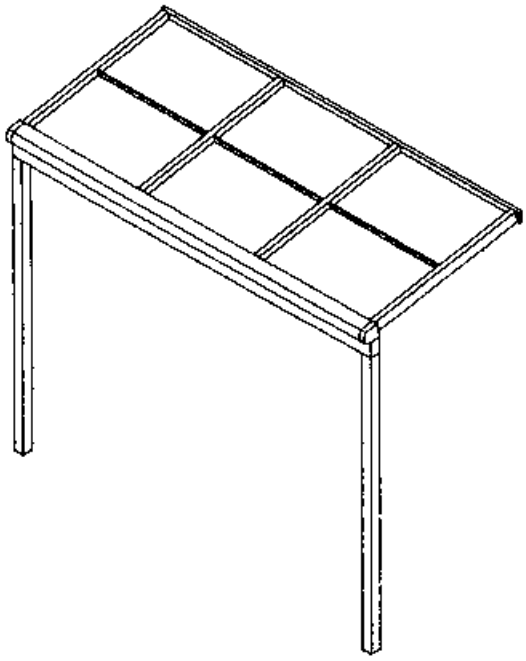
新日軽

フォルテラスA型
組立施工マニュアル

〈大型タイプ・積雪タイプ・一般タイプ2.5間単体〉



<目次>

● 販売店・工事店様へのお願い ・・・・P 1
● 規格寸法図・規格寸法表 ・・・・P 2
● 規格表 ・・・・P 3
● 組立手順 ・・・・P 7
　基本 単体タイプの組立
　基本 連棟タイプの組立
　柱移動タイプの組立
　バルコニー接続タイプの組立
● 基本納まり図 ・・・・P18

◪ 販売店・工事店様へのお願い

●安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
⚠注意	使用者がこの表示を無視して取り扱うと、人的・物的損害が予想されることを示します。

⚠注意

- 商品に貼り付けされている注意・取り扱い説明のラベル等をはがさないでください。
- 商品は、建物の屋根に積もった雪が落ちない位置に取り付けてください。やむを得ない場合は、建物の屋根に雪止めを取り付けてください。
- シーリング指定箇所は、必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合部は念入りにシーリング処理を行ってください。
  シーリング処理が十分に行われていない場合、雨漏れの原因となりますので注意してください。
- 施工の際、軀体へのコーチスクリューや木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。
  また、プラグ類をモルタルやサイデング等の部分のみで固定することも大変危険ですので絶対にやめてください。
- 材料を継ぎたす等の改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 積雪地域での施工は避けてください。
- 設置場所等で、地盤から高く強風を受ける場所への設置は、事前に弊社営業所にご相談ください。

お願い

- 施工を始めてから手直しが出ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。
  特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取り付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。また、他の工事が終了後養生テープをはがしてください。
- 商品の勝手は、外観視 右勝手・左勝手となっております。
- 建物に取り付ける部材・部品は、建物の柱・間柱・胴差し等に確実に固定してください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出ていない場合、取り付かない場合があります。
  また、十分な強度が出ない場合もあり大変危険です。注意してください。
- 取り付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。
  建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。

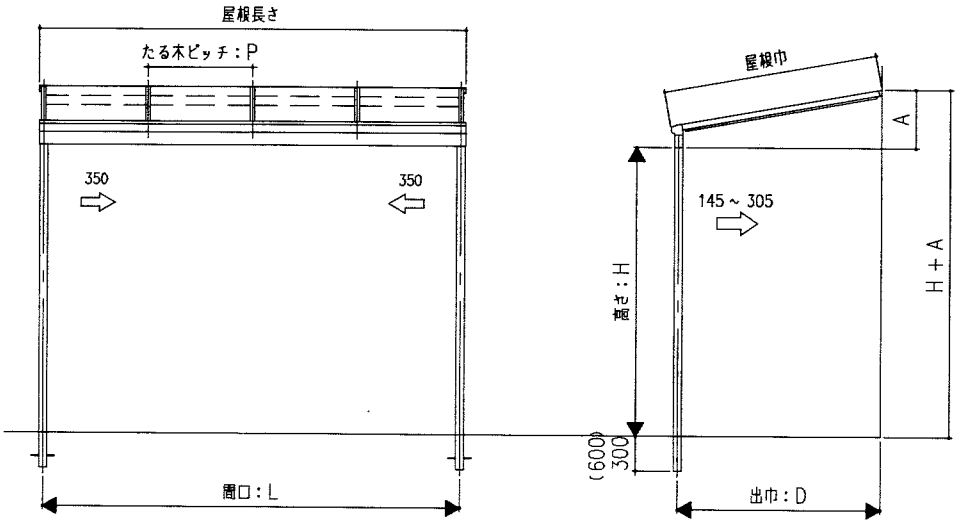
●アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取り扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- アルミ製品と **銅板やラス等** の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理を行ってください。
- **輸入木材** には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。
- モルタル用に **海砂** を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- モルタルやコンクリートの **抽出液** が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。
- モルタルやコンクリートの **凝結材** は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- 施工時にアルミ製品の表面に **付着** したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。
  また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取り扱いに十分注意してください。
- 腐蝕の恐れのある **接着剤や科学薬品** を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

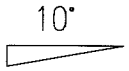
規格寸法図

● 単体姿図



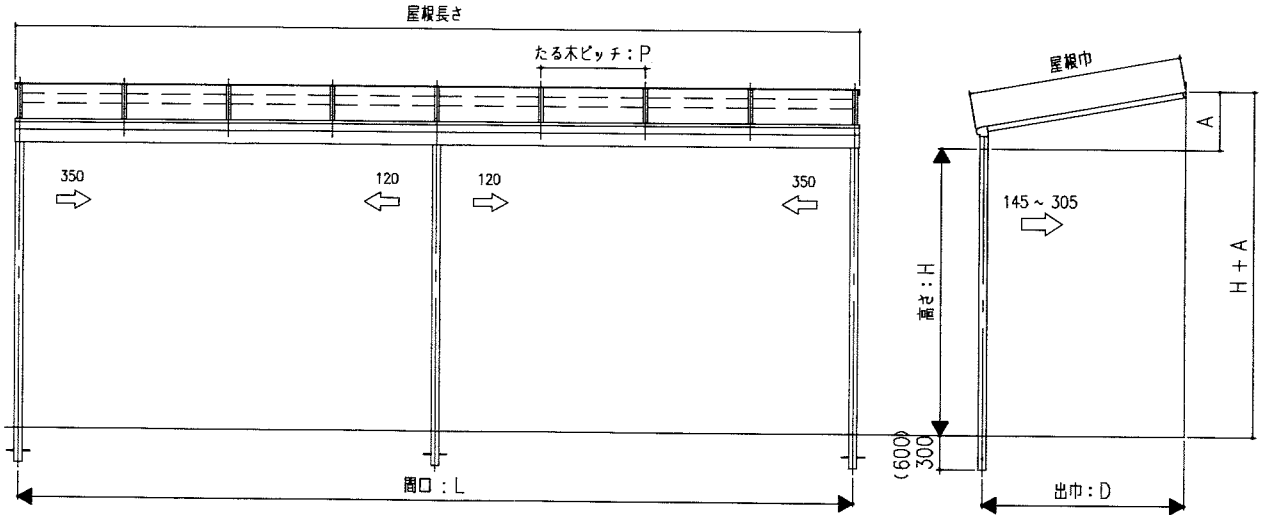
は柱移動範囲を示す。

出巾方向の柱移動は、柱移動桁使用時の移動範囲です。



・埋込み寸法（600）は積雪タイプです。
・積雪タイプはたる木とたる木の間に中間たる木が入ります。

● 連棟姿図



規格寸法表

● 間口寸法

L	関東間	関西間
1.5 間	2735	2976
2.0 間	3644	3931
2.5 間	4561	4998
3.0 間	5470	5952
3.5 間	6379	6907
4.0 間	7288	7862

● 出巾寸法

	D
3 尺	865
4 尺	1165
5 尺	1465
6 尺	1765
7 尺	2065
8 尺	2365
9 尺	2665
10 尺	2965

● A 寸法

	A
3 尺	350
4 尺	403
5 尺	456
6 尺	509
7 尺	562
8 尺	615
9 尺	668
10 尺	721

● 屋根長さ

	関東間	関西間
1.5 間	2815	3113
2.0 間	3724	4124
2.5 間	4641	5135
3.0 間	5550	6146
3.5 間	6459	7157
4.0 間	7368	8168

● 屋根巾

	屋根巾
3 尺	949
4 尺	1254
5 尺	1558
6 尺	1863
7 尺	2168
8 尺	2473
9 尺	2777
10 尺	3082

● たる木ピッチ

	P
関東間	911
関西間	1011

● 高さ寸法

	H
標準柱	2600
長 柱	3000

規格表

製品記号の■部には色記号が入ります。

C：こはく　H：ホワイト　S：セピアブラック　F：ファイングレー

● 横材

名称		部品番号	製品記号							
			■JTAY15S	■JTAY20S	■JTAY25S	■JTAY25	■JTAY15SW	■JTAY20SW	■JTAY25SW	■JTAY25W
前枠		——	2735 x 1	3644 x 1	4559 x 1	4559 x 1	3033 x 1	4044 x 1	5055 x 1	5055 x 1
たる木掛け		——	2735 x 1	3644 x 1	4559 x 1	4559 x 1	3033 x 1	4044 x 1	5055 x 1	5055 x 1
補強桁		——	2810 x 1	3719 x 1	4634 x 1	——	3108 x 1	4119 x 1	5130 x 1	——
雪除けカバー		——	2734 x 1	3644 x 1	4557 x 1	——	3033 x 1	4044 x 1	5055 x 1	——
セット部品		——	SE-1110-32	SE-1110-33	SE-1110-34	SE-1110-28	SE-1110-32	SE-1110-33	SE-1110-34	SE-1110-28
セット部品内容	コーチスクリュー φ6 x 70	——	4	5	6	6	4	5	6	6
	ワッシャー M6	——	4	5	6	6	4	5	6	6
	落し口バッキン	ETC-3787	1	1	1	1	1	1	1	1
	落し口カバー	ETC-3788	1	1	1	1	1	1	1	1
	トラスタッピン φ4 x 12	——	2	2	2	2	2	2	2	2
	前枠パネルガイド	GP-1389	3	4	5	5	3	4	5	5
	ターンナット（M5用）	BN-1121	6	7	8	——	6	7	8	——
	トラスタッピン φ5 x 20	——	6	7	8	——	6	7	8	——
	セルフドリリングネジ φ4X16	——	5	6	7	——	5	6	7	——

● 側枠

名称	部品番号	製品記号							
		■JTAG3S	■JTAG4S	■JTAG5S	■JTAG6S	■JTAG7	■JTAG8	■JTAG9	■JTAG10
側枠	——	825 x 2	1130 x 2	1434.5 x 2	1739 x 2	2044 x 2	2348 x 2	2653 x 2	2958 x 2
たる木カバー	——	880 x 2	1185 x 2	1489 x 2	1794 x 2	2065 x 2	2369 x 2	2674 x 2	2979 x 2
中骨ブラケット	IB-190	2	2	4	4	12	12	16	16
セット部品	——	SB-1151-08	SB-1151-09	SB-1151-11	SB-1151-13	SE-1155-04	SE-1155-04	SE-1155-05	SE-1155-05
トラスタッピン φ5 x 12		16	18	21	24	31	31	37	37
セルフドリリングネジ φ5X25	——	4	4	6	6	4	4	4	4
中骨補強金具	EB-1140	——	——	——	——	4	4	4	4
セルフドリリングネジ φ4X13	——	——	——	——	——	6	6	6	6

● 柱

名称	部品番号	製品記号							
		■JTFP	■JTFRP	■JTFPL	■JTFRPL	■JTFPS	■JTFRPS	■JTFPLS	■JTFRPLS
柱	——	2900 x 2	2900 x 1	3300 x 2	3300 x 1	3200 x 2	3200 x 1	3600 x 2	3600 x 1

● 中骨

名称	部品番号	製品記号							
		■JTFM2	■JTFM3	■JTFM4S	■JTFM6S	■JTFM10	■JTFM2W	■JTFM3W	■JTFM10W
中骨	——	870 x 2	870 x 3	414.5 x 4	414.5 x 6	870 x 10	970 x 2	970 x 3	970 x 10

● たる木

名称	部品番号	製品記号							
		■JTAT32S	■JTAT42S	■JTAT52S	■JTAT62S	■JTAT72	■JTAT82	■JTAT92	■JTAT102
たる木	——	825 x 2	1130 x 2	1434.5 x 2	1739 x 2	2044 x 2	2348 x 2	2653 x 2	2958 x 2
たる木カバー	——	880 x 2	1185 x 2	1489 x 2	1794 x 2	2065 x 2	2369 x 2	2674 x 2	3979 x 2
中骨ブラケット	IB-190	4	4	8	8	12	12	16	16
積雪・大型用たる木カバー	CY-1532	4	4	4	4	4	4	4	4
セルフドリリングネジ φ4X16	——	4	4	4	4	4	4	4	4
セット部品	——	SB-1151-10	SB-1151-11	SB-1151-14	SB-1151-14	SB-1151-16	SB-1151-16	SB-1151-17	SB-1151-17
トラスタッピン φ5 x 12		20	21	27	27	33	33	39	39
セルフドリリングネジ φ5X25		4	6	6	6	6	6	6	6

規格表

製品記号の■部には色記号が入ります。

C：こはく　H：ホワイト　S：セピアブラック　F：ファイングレー

●たる木

名称	部品番号	製品記号							
		■JTAT33S	■JTAT43S	■JTAT53S	■JTAT63S	■JTAT73	■JTAT83	■JTAT93	■JTAT103
たる木	——	825 x 3	1130 x 3	1434.5 x 3	1739 x 3	2044 x 3	2348 x 3	2653 x 3	2958 x 3
たる木カバー	——	880 x 3	1185 x 3	1489 x 3	1794 x 3	2065 x 3	2369 x 3	2674 x 3	2979 x 3
中骨ブラケット	IB−190	6	6	12	12	18	18	24	24
積雪・大型用たる木カバー	CY−1532	6	6	6	6	6	6	6	6
セルフドリリングネジφ4X16	——	6	6	6	6	6	6	6	6
セット部品	——	SB−1151−15	SB−1151−16	SB−1151−17	SB−1151−18	SB−1151−18	SB−1151−19	SB−1151−19	SB−1151−20
トラスタッピンφ5 x 12		30	33	39	46	46	55	55	61
セルフドリリングネジφ5X25		6	6	6	6	6	6	6	6

●中間たる木

名称	部品番号	製品記号							
		■JTAT31T	■JTAT41T	■JTAT51T	■JTAT61T	■JTAT71T	■JTAT81T	■JTAT91T	■JTAT101T
中間たる木	——	825 x 1	1130 x 1	1434.5 x 1	1739 x 1	2044 x 1	2348 x 1	2653 x 1	2958 x 1
中骨ブラケット	IB−190	2	2	4	4	6	6	8	8
セット部品	——	SE−1373−01	SE−1373−01	SE−1373−01	SE−1373−01	SE−1373−01	SE−1373−01	SE−1373−01	SE−1373−01
トラスタッピンφ5 x 12		6	6	6	6	6	6	6	6
セッティングブロック	SP−423	1	1	1	1	1	1	1	1

名称	部品番号	製品記号							
		■JTAT32T	■JTAT42T	■JTAT52T	■JTAT62T	■JTAT33T	■JTAT43T	■JTAT53T	■JTAT63T
中間たる木	——	825 x 2	1130 x 2	1434.5 x 2	1739 x 2	825 x 3	1130 x 3	1434.5 x 3	1739 x 3
中骨ブラケット	IB−190	4	4	8	8	6	6	12	12
セット部品	——	SE−1373−02	SE−1373−02	SE−1373−02	SE−1373−02	SE−1373−03	SE−1373−03	SE−1373−03	SE−1373−03
トラスタッピンφ5 x 12		10	10	10	10	14	14	14	14
セッティングブロック	SP−423	2	2	2	2	3	3	3	3

●アクリル板

名称	サイズ W x L x T	製品記号			
		AJTA31●	AJTA41●	AJTA51●	AJTA61●
アクリル板	W x 899 x 2	1			
アクリル板	W x1204 x 2		1		
アクリル板	W x1509 x 2			1	
アクリル板	W x1813 x 2				1

名称	サイズ W x L x T	製品記号			
		AJTA32●	AJTA42●	AJTA52●	AJTA62●
アクリル板	W x 899 x 2	2			
アクリル板	W x1204 x 2		2		
アクリル板	W x1509 x 2			2	
アクリル板	W x1813 x 2				2

名称	サイズ W x L x T	製品記号			
		AJTA33●	AJTA43●	AJTA53●	AJTA63●
アクリル板	W x 899 x 2	3			
アクリル板	W x1204 x 2		3		
アクリル板	W x1509 x 2			3	
アクリル板	W x1813 x 2				3

アクリル板の●部には
色記号・間別が入ります。
A　：ライトブロンズ（関東間）
B　：ブルースモーク（関東間）
AW：ライトブロンズ（関西間）
BW：ブルースモーク（関西間）

アクリル板寸法	関東間	関西間
W	893	993

規格表

● ポリカーボネート板

名　称	サイズ W x L x T	製品記号							
		AJTA31●	AJTA41●	AJTA51●	AJTA61●	AJTA71●	AJTA81●	AJTA91●	AJTA101●
ポリカーボネート板	W x 899 x 2	1							
ポリカーボネート板	W x 1204 x 2		1						
ポリカーボネート板	W x 1509 x 2			1					
ポリカーボネート板	W x 1813 x 2				1				
ポリカーボネート板	W x 2118 x 2.5					1			
ポリカーボネート板	W x 2422 x 2.5						1		
ポリカーボネート板	W x 2727 x 2.5							1	
ポリカーボネート板	W x 3032 x 2.5								1

名　称	サイズ W x L x T	製品記号							
		AJTA32●	AJTA42●	AJTA52●	AJTA62●	AJTA72●	AJTA82●	AJTA92●	AJTA102●
ポリカーボネート板	W x 899 x 2	2							
ポリカーボネート板	W x 1204 x 2		2						
ポリカーボネート板	W x 1509 x 2			2					
ポリカーボネート板	W x 1813 x 2				2				
ポリカーボネート板	W x 2118 x 2.5					2			
ポリカーボネート板	W x 2422 x 2.5						2		
ポリカーボネート板	W x 2727 x 2.5							2	
ポリカーボネート板	W x 3032 x 2.5								2

名　称	サイズ W x L x T	製品記号							
		AJTA33●	AJTA43●	AJTA53●	AJTA63●	AJTA73●	AJTA83●	AJTA93●	AJTA103●
ポリカーボネート板	W x 899 x 2	3							
ポリカーボネート板	W x 1204 x 2		3						
ポリカーボネート板	W x 1509 x 2			3					
ポリカーボネート板	W x 1813 x 2				3				
ポリカーボネート板	W x 2118 x 2.5					3			
ポリカーボネート板	W x 2422 x 2.5						3		
ポリカーボネート板	W x 2727 x 2.5							3	
ポリカーボネート板	W x 3032 x 2.5								3

ポリカーボネート板の● 部には
色記号・間別が入ります。
Z　：ライトブロンズ（関東間）
P　：ブルースモーク（関東間）
ZW：ライトブロンズ（関西間）
PW：ブルースモーク（関西間）

ポリカーボネート板寸法	関東間	関西間
W	895	995

製品記号の■ 部には
色記号が入ります。
C：こはく
H：ホワイト
S：セピアブラック
F：ファイングレー

● 柱移動桁

名　称	部品番号	製品記号					
		■JTFK15S	■JTFK20S	■JTFK25S	■JTFK15SW	■JTFK20SW	■JTFK25SW
柱移動桁	——	2735 x 1	3644 x 1	4561 x 1	3033 x 1	4044 x 1	5055 x 1
セット部品	——	SB-1153-02	SB-1153-03	SB-1153-04	SB-1153-02	SB-1153-03	SB-1153-04
セルフドリリングネジφ5 x 13		8	10	12	8	10	12

規格表

● 接続柱

名称		部品番号	製品記号		
			■JTFJ7	■JTFRJ7	■JTFJP
柱		——	1300 x 2	1300 x 1	2400 x 2
セット部品		——	SE-1004-01	SE-1004-02	SE-1112-01
セット部品内容	柱ジョイント	AB−1007	2	1	
	柱ジョイントカバー	C−1402	2	1	
	セルフドリリングネジφ4 x 13	——	19	10	
	接続柱ブラケット	CB−1040			2
	笠木・柱ブラケット	EB−546			2
	六角ボルト M8 x 90	——			4
	六角ボルト M8 x 90	——			4
	六角ナット M 8	——			8
	ワッシャー M 8	——			16
	セルフドリリングネジφ4 x 19	——			18

● 柱移動桁用 標準・連結部品箱

名称	部品番号	製品記号	
		■JTAKBS	■JTAKRBS
前枠ブラケット（左）	IB−1071−L	1	
前枠ブラケット（右）	IB−1071−R	1	
たる木掛けブラケット（左）	IB−1065−L	1	
たる木掛けブラケット（右）	IB−1065−R	1	
移動桁ブラケット（左）	CB−1138−L	1	
移動桁ブラケット（右）	CB−1138−R	1	
桁受けブラケット（左）	AB−1140−L	1	
桁受けブラケット（右）	AB−1140−R	1	
桁受けブラケット	AB−1109		1
桁受けブラケット用パッキン	BC−4841	2	
アンカー棒	AN−108	2	1
コーキング材	NBC−256	1	1
トラスタッピンφ5 x 12	——	13	12
六角ボルト M8 x 16	——	4	2
ワッシャー M8	——	4	2
スプリングワッシャー M8	——	4	2
ナット M8	——	4	2
皿タッピン ガイド付きφ4 x 60	——	2	
組立施工マニュアル	ME−1428	1	
連結スリーブ	AB−1150		1
前枠連結フサギ	ETC−3789		1
移動桁連結金具	J−1169		1
セルフドリリングネジφ4 x 13	——		2
連結垂木補強板	LB−1079		2
セルフドリリングネジφ5x13	——		10
セルフドリリングネジφ5x16	——	8	4
移動桁スペーサー	EB−1889	2	
セルフドリリングネジφ5x30	——	4	

● 雪除けカバー

名称	部品番号	製品記号	
		■JTASK20	■JTASK20W
雪除けカバー	——	905 x 4	1005 x 4
セット部品	——	SE-1150-02	SE-1150-02
雪除けカバー連結板	J−1083	5	5
セルフドリリングネジφ5 x 16	——	6	6
セルフドリリングネジφ5 x 25	——	2	2
積雪50cm用注意ラベル	ML−1065	1	1
セット部品	——	SE-1370-01	SE-1370-01
雪除けカバー取付部品	ETC−4023	5	5

● 標準・連結部品箱

名称	部品番号	製品記号	
		■JTABS	■JTARBS
前枠ブラケット（左）	IB−1071−L	1	
前枠ブラケット（右）	IB−1071−R	1	
たる木掛けブラケット（左）	IB−1065−L	1	
たる木掛けブラケット（右）	IB−1065−R	1	
柱固定金具	AB−1042	2	
柱固定裏板	BP−1857	2	
補強桁用端部キャップ	CY−1531	2	
アンカー棒	AN−108	2	1
コーキング材	NBC−256	1	1
組立施工マニュアル	ME−1428	1	
積雪20cm用注意ラベル	ML−1063	1	
積雪100cm用注意ラベル	ML−1090	1	
柱固定金具（連棟用）	AB−1043		1
柱固定裏板（連棟用）	BP−1858		1
連結スリーブ	AB−1150		1
補強桁スリーブ	HO−1723		1
連棟垂木補強板	LB−1079		2
補強桁連結キャップ	CY−1542		1
前枠雨樋フサギ	ETC−3789		1
雪除けカバー連結板	J−1083		1
セルフドリリングネジφ5x13	——		10
トラスタッピンφ5 x 12	——	13	20
六角ボルト M8 x 16	——	4	2
ワッシャー M8	——	4	2
スプリングワッシャー M8	——	4	2
セルフドリリングネジφ4x16	——	3	3
セルフドリリングネジφ5x16	——		2
セルフドリリングネジφ4x13	——		2

製品記号の■部には
色記号が入ります。
C：こはく
H：ホワイト
S：セピアブラック
F：ファイングレー

組立手順（基本 単体タイプ）

① たる木掛けの組立

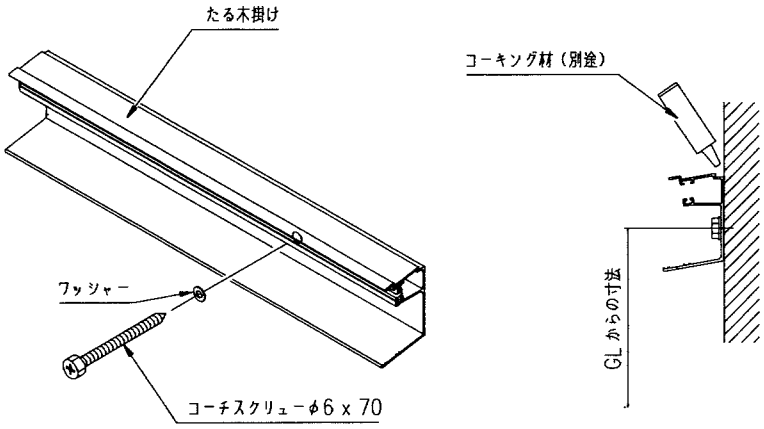
◎ たる木掛けの高さを決めて
コーチスクリュー（φ6 x 70）で
固定してください。

◎ たる木掛けの上面に、コーキングを
してください。

⚠注意

◎ コーチスクリューの下孔は
φ4.5 深さ 50 mm 以下に
してください。

◎ コーチスクリューの下孔には
コーキング材を充てんしてください。



	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺
GL からの寸法	2919	2972	3025	3078	3023	3076	3129	3182

② 前枠と補強桁の組立

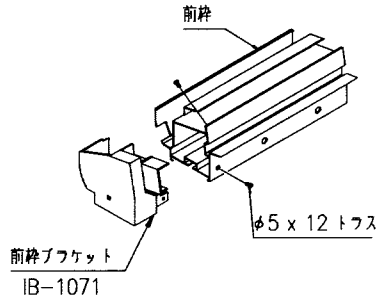
◎ 柱固定裏板を補強桁の中に入れ
補強桁キャップをセルフドリリングネジ
φ4X16で固定してください。

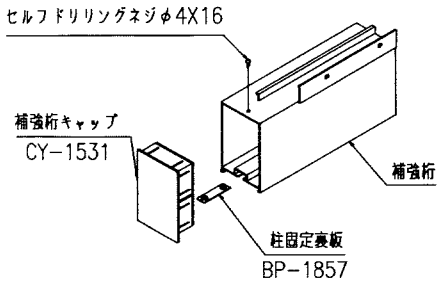
◎ 前枠に前枠ブラケットを差し込み
φ5 x 12 トラスで
固定してください。

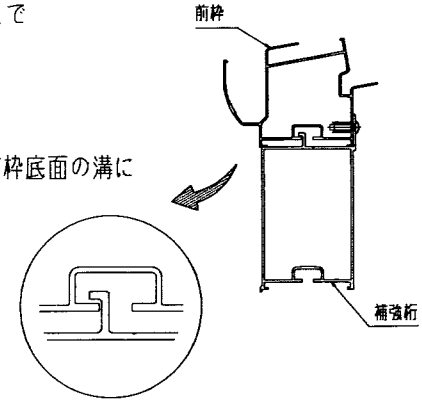
◎ 前枠にM5ターンナットを挿入し
補強桁をM5X20トラスで
固定してください。

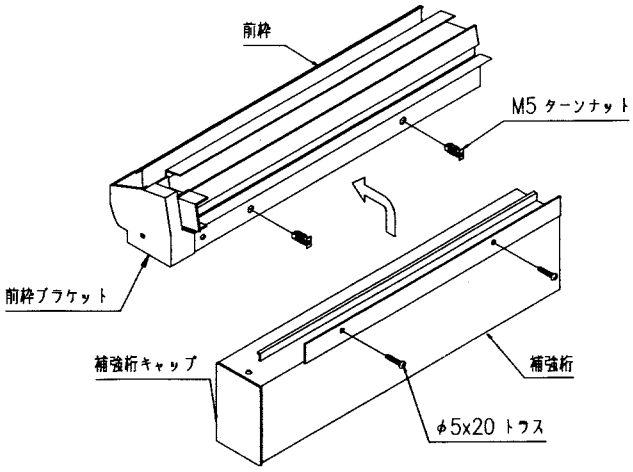
⚠注意

◎ 補強桁の上部フィンを前枠底面の溝に
嵌めてください。

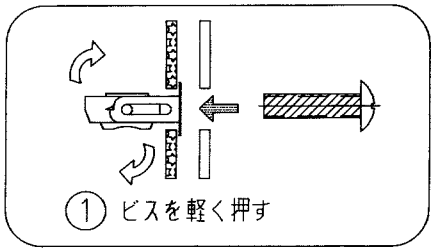


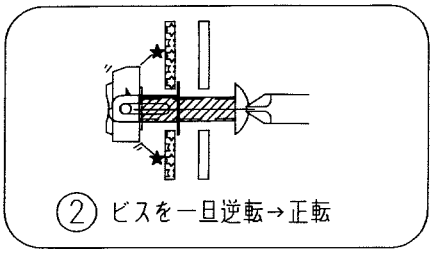


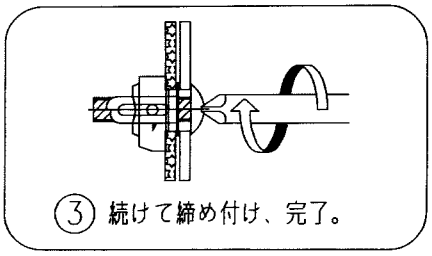




<ターンナット 取付方法>







ターンナットを下孔に挿入した後、
器材を当てがいビスを指で指し込みます。
ビスを軽く押すと、ナットが回転します。
φ4X20トラスで固定してください。

手廻しドライバーでビスを押しながら
1～2回逆転（左廻）し、そのまますぐに
2～3回正転（右廻）して、ビスを軽く
ねじ込みます。

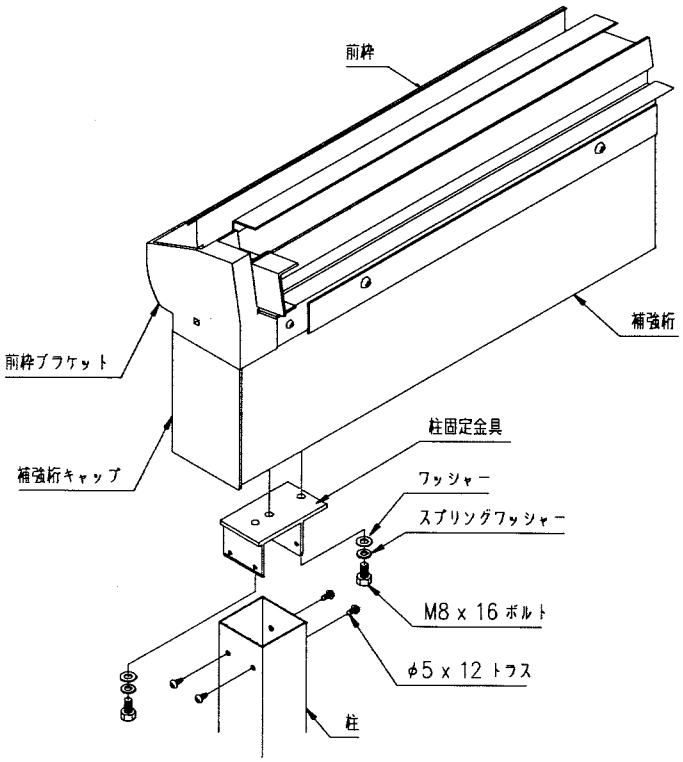
そのまま続けて締め付けます。
（大量にご使用の場合は、ここで
エアードライバーや充電式ドライバー
などに換えて頂くと、能率的です。

組立手順（基本 単体タイプ）

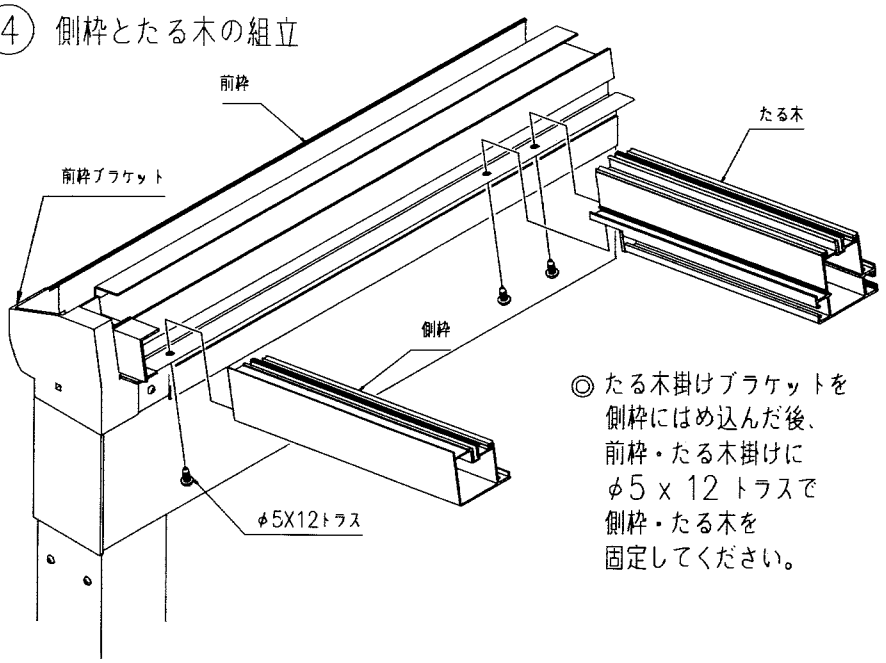
③ 柱と前枠・補強桁の組立

◎ 柱固定金具を柱固定裏板に
M8x16 ボルトで
固定してください。

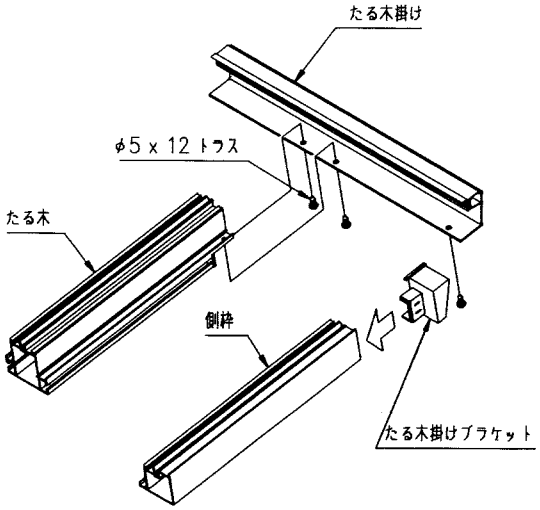
◎ 柱に柱固定金具を差し込み
φ5 x 12 トラスで
固定してください。



④ 側枠とたる木の組立

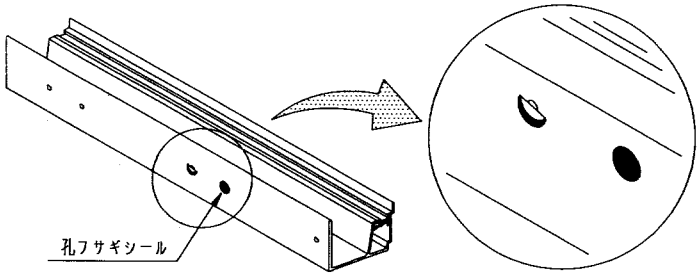


◎ たる木掛けブラケットを
側枠にはめ込んだ後、
前枠・たる木掛けに
φ5 x 12 トラスで
側枠・たる木を
固定してください。



◎ 孔フサギシールについて

積雪タイプの場合のみ、たる木掛け・前枠の
下面に貼ってある孔フサギシールをはがして
施工してください。

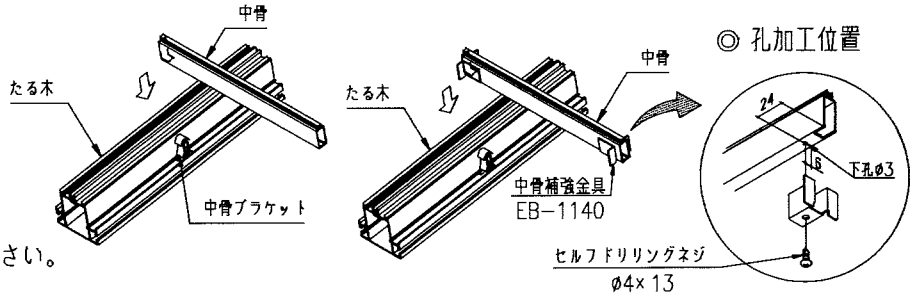


組立手順（基本 単体タイプ）

⑤ 中骨の組立

◎ 中骨の切り欠き部を、中骨ブラケットに合わせて差し込んで固定してください。

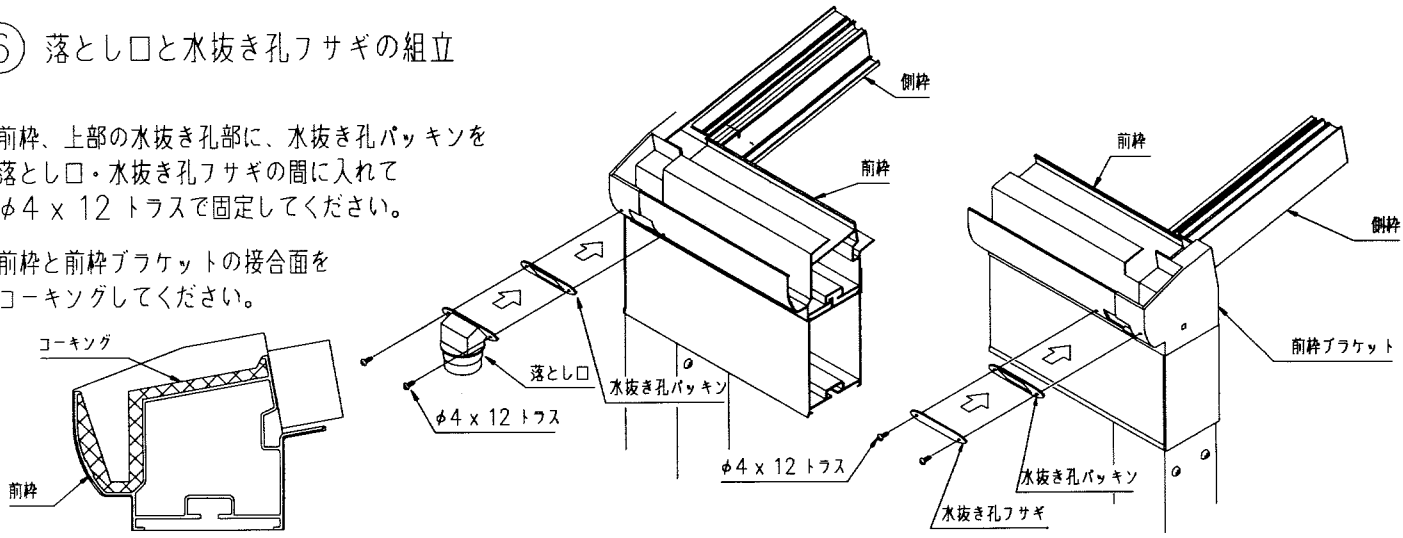
◎ 大型タイプは、両端の中央部にくる中骨のみ孔加工して、中骨補強金具を取付け組立してください。



⑥ 落とし口と水抜き孔フサギの組立

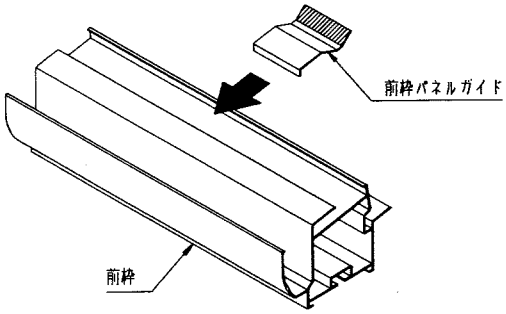
◎ 前枠、上部の水抜き孔部に、水抜き孔パッキンを落とし口・水抜き孔フサギの間に入れてφ4 x 12 トラスで固定してください。

◎ 前枠と前枠ブラケットの接合面をコーキングしてください。



⑦ 屋根材の組立

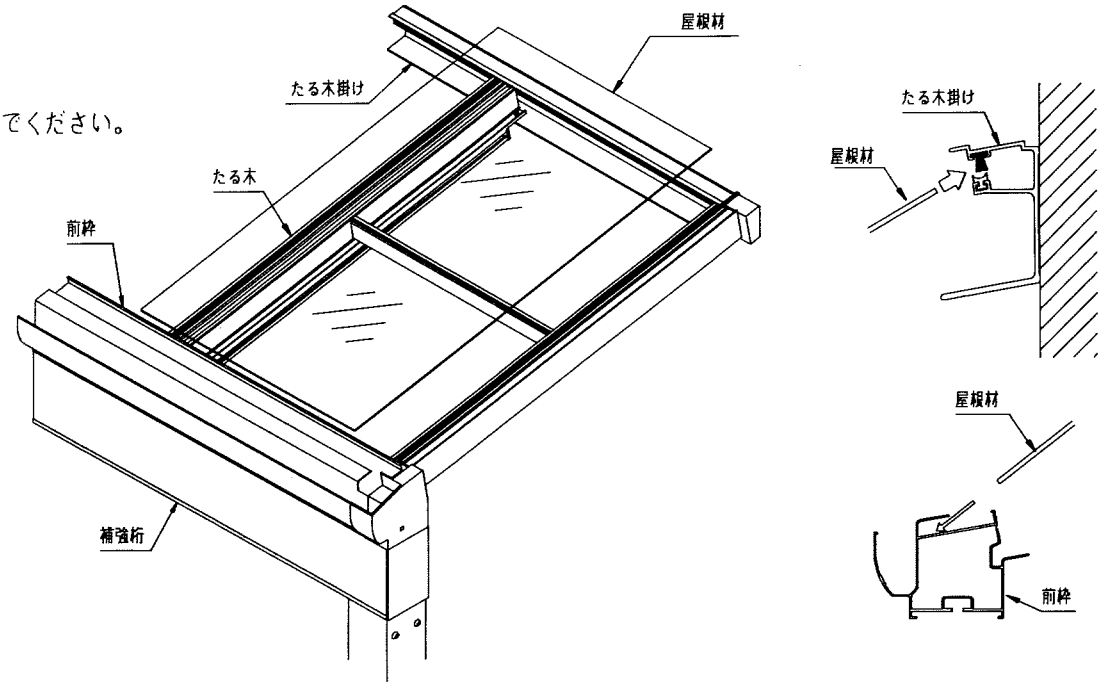
◎ たる木とたる木の中央に離形紙をはがして前枠パネルガイドを前枠に差し入れ、パチンと音がするまで▨部を押して取付けてください。



⑧ 屋根材の組立

◎ たる木掛けに屋根材を差し込んでください。

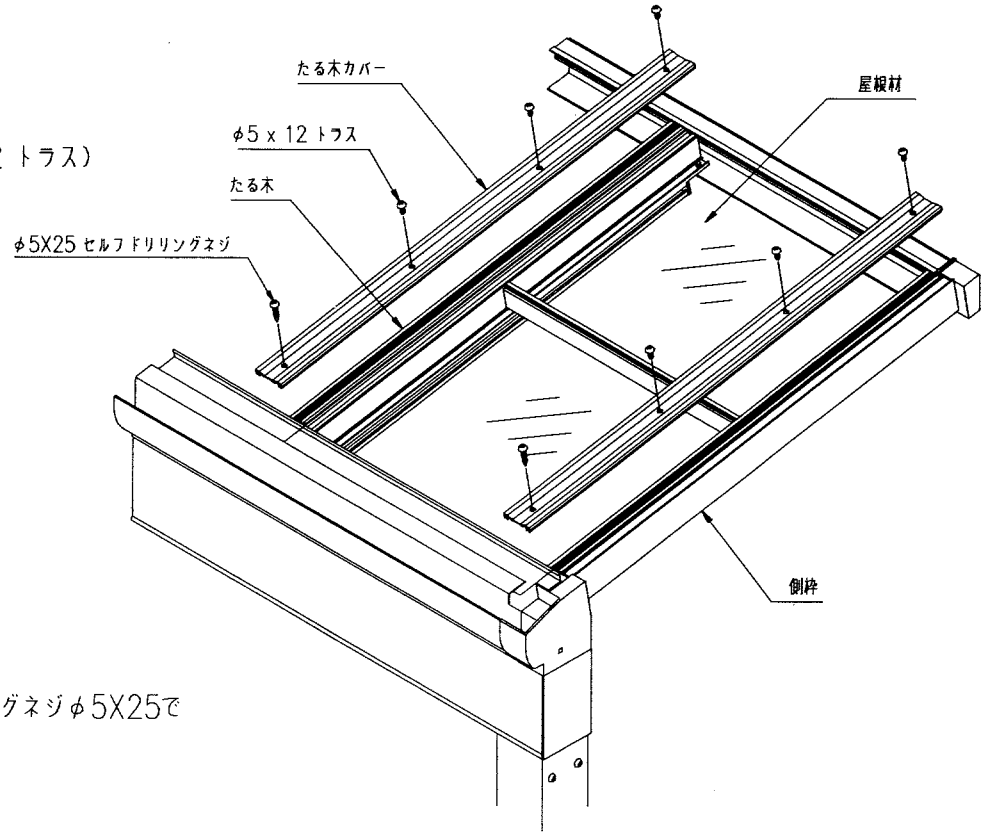
◎ 屋根材を少し持ち上げて前枠に差し込んでください。



組立手順（基本 単体タイプ）

⑨ たる木カバーの組立

◎ たる木カバーで屋根材を
固定してください。（φ5 x 12 トラス）

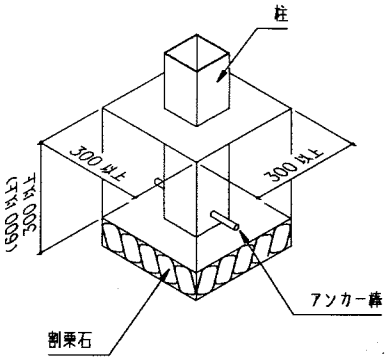


＊たる木カバー前枠側固定ビスは
抜け防止の為、セルフドリリングネジφ5X25で
固定してください。

⑩ 柱の固定

◎ 柱にアンカー棒を差し込んでください。

◎ 基礎巾 300mm 以上・基礎深さ 300mm 以上で
必ず、割栗石をいれてください。
なお、積雪タイプはすべて600mm以上になります。

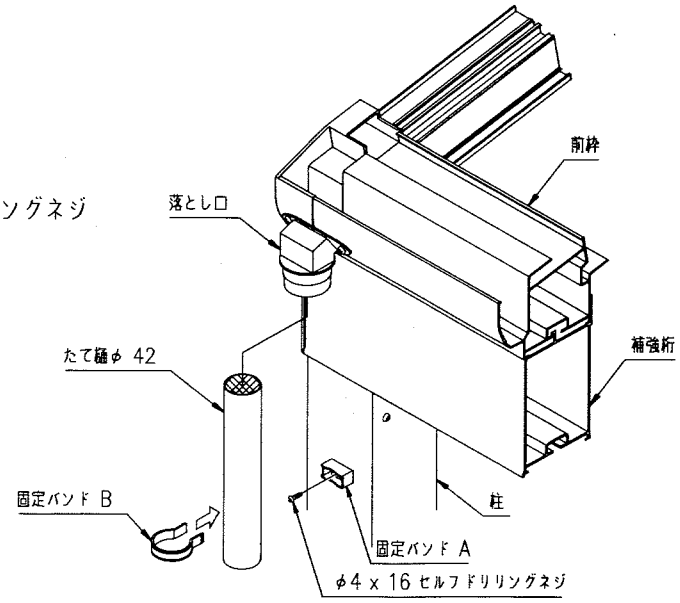


⑪ 雨樋の組立

◎ 落とし口に、たて樋φ 42に
接着材を塗布して固定してください。

◎ 柱に、固定バンド Aをセルフドリリングネジ
φ 4 x 16 で、固定してください。

◎ たて樋を、固定バンド A 、B で
柱に固定してください。



⚠ 注意

◎ 雨樋の接合面には、必ず付属の
接着材を塗布してください。

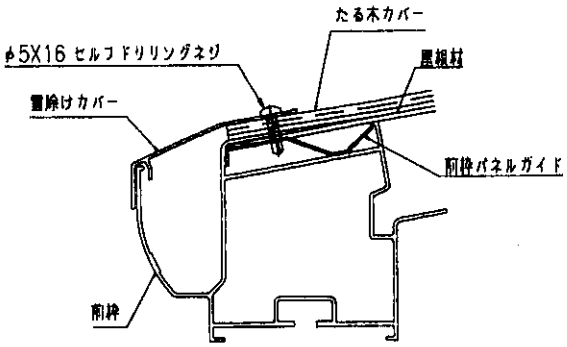
⑫ 雪除けカバーの組立

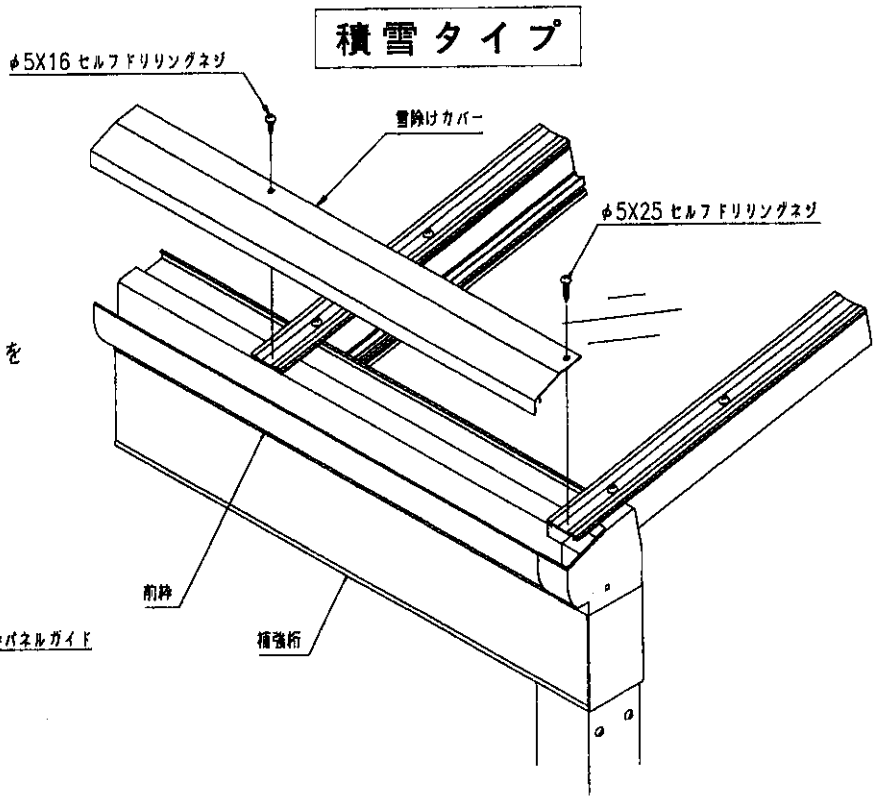
積雪タイプ

◎ 雪除けカバーを前枠と嵌合させ
中央部はφ5X16セルフドリリングネジ
端部のみφ5X25セルフドリリングネジで
固定してください。

⚠注意

◎ 端部を固定する時は、セルフドリリングネジを
締めつけすぎないようご注意ください。





⑬ 雪除けカバーの組立（連棟タイプ）

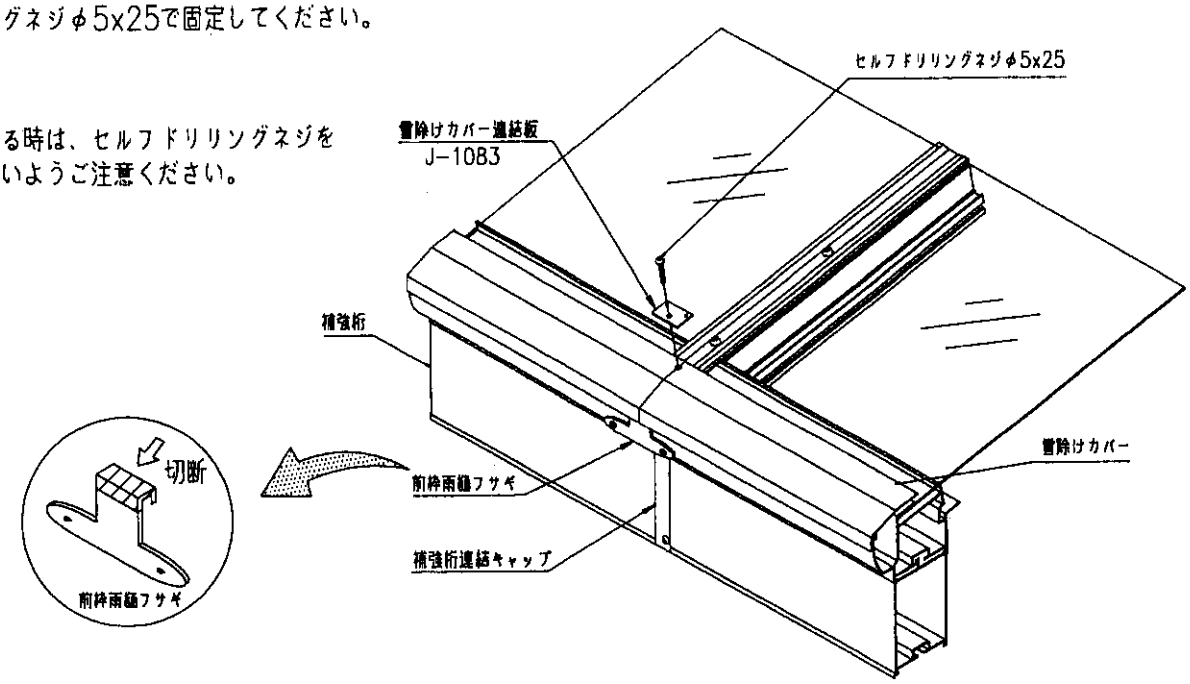
積雪タイプ

◎ 前枠雨樋フサギを下図のように上部のかかり部分のみ
切断して、取付けてください。

◎ 雪除けカバーの連結部は、雪除けカバー連結板をあて
セルフドリリングネジφ5x25で固定してください。

⚠注意

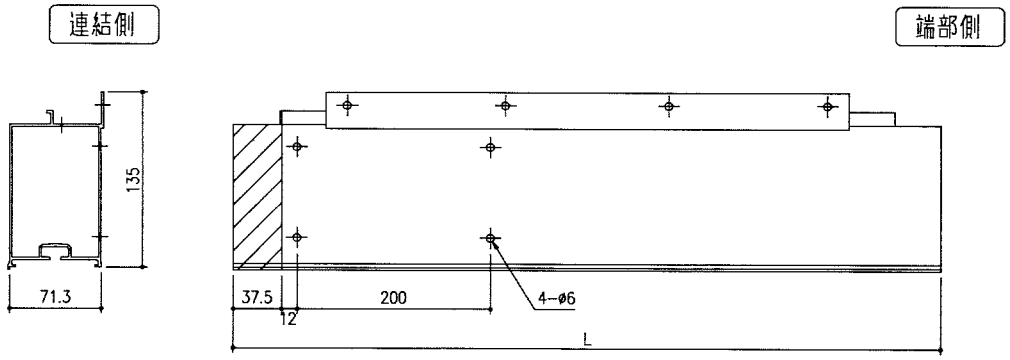
◎ 連結部を固定する時は、セルフドリリングネジを
締めつけすぎないようご注意ください。



組立手順（基本 連棟タイプ）

① 補強桁の切断加工図

◎ 補強桁は、右図を参考に
それぞれの連結側のみ
切断して、孔加工（φ6）を
追加してください。



② たる木掛けの組立

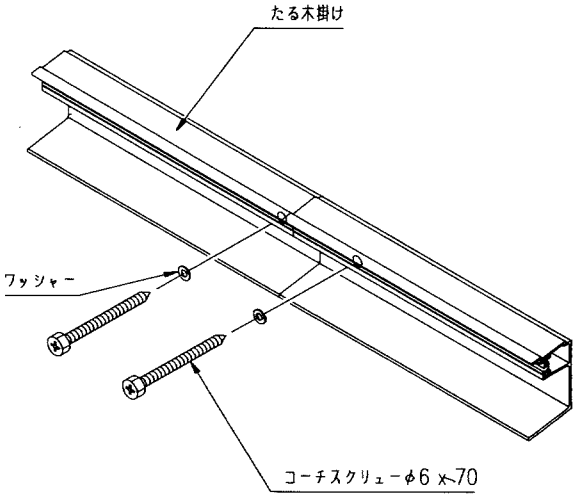
◎ たる木掛けを合わせて
コーチスクリュー（φ6 x 70）で
固定してください。

◎ たる木掛けの上面に、コーキングを
してください。

⚠注意

◎ コーチスクリューの下孔は
φ4.5 深さ 50 mm 以下に
してください。

◎ コーチスクリューの下孔には
コーキング材を充てんしてください。



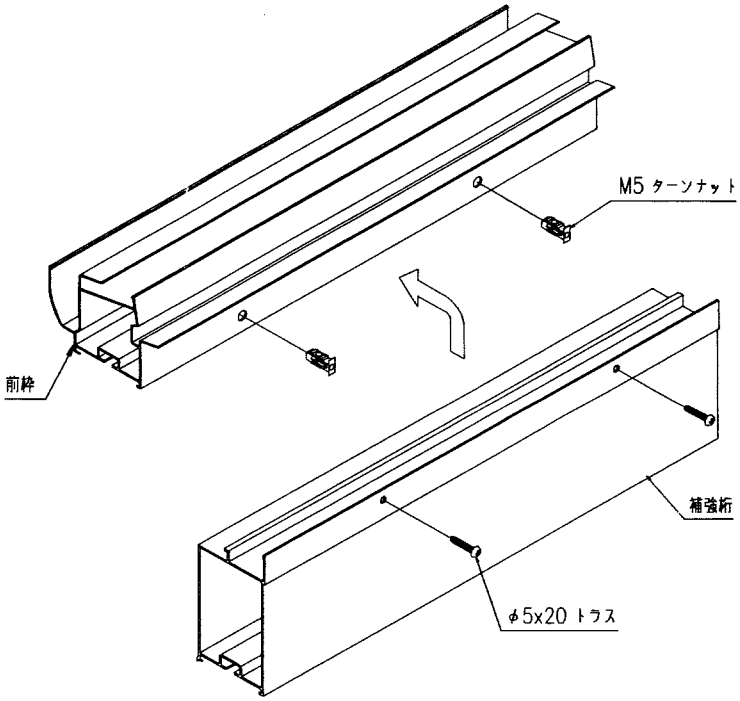
③ 前枠と補強桁の組立

◎ 前枠にM5ターンナットを挿入し
補強桁をM5X20トラスで
固定してください。

⚠注意

◎ 補強桁の上部フィンを前枠底面の溝に
嵌めてください。

◎ ターンナットの取付方法は P.7 を参照ください。



組立手順（基本 連棟タイプ）

④ 前枠の連結と柱の組立

◎ 前枠・補強桁の中に連結スリーブを差し込んで、φ5 x 12 トラスで固定してください。

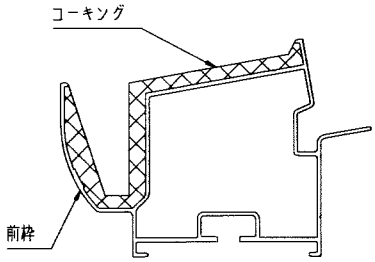
◎ 柱固定裏板と柱固定金具を、M8 x 16 ボルトで固定してください。

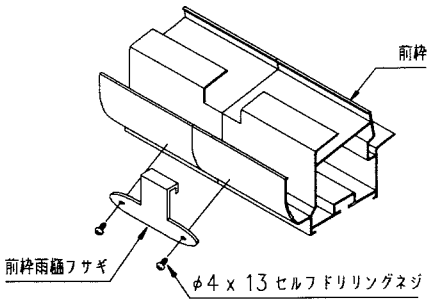
◎ 柱に柱固定金具を差し込んで、φ5 x 12 トラスで固定してください。

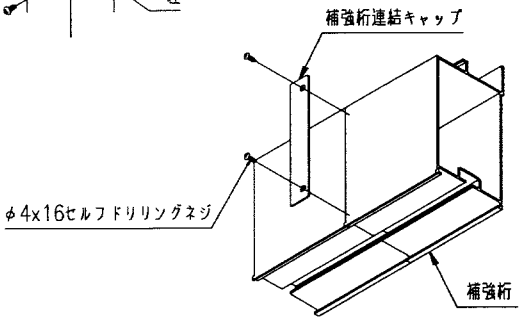
◎ 前枠の連結部に、前枠雨樋フサギをセルフドリリングネジφ4 x 13 で固定してください。

◎ 連結部 水抜き孔は P.5 の落とし口・水抜き孔フサギの組立を参照願います。

◎ 前枠の連結部をコーキングしてください。



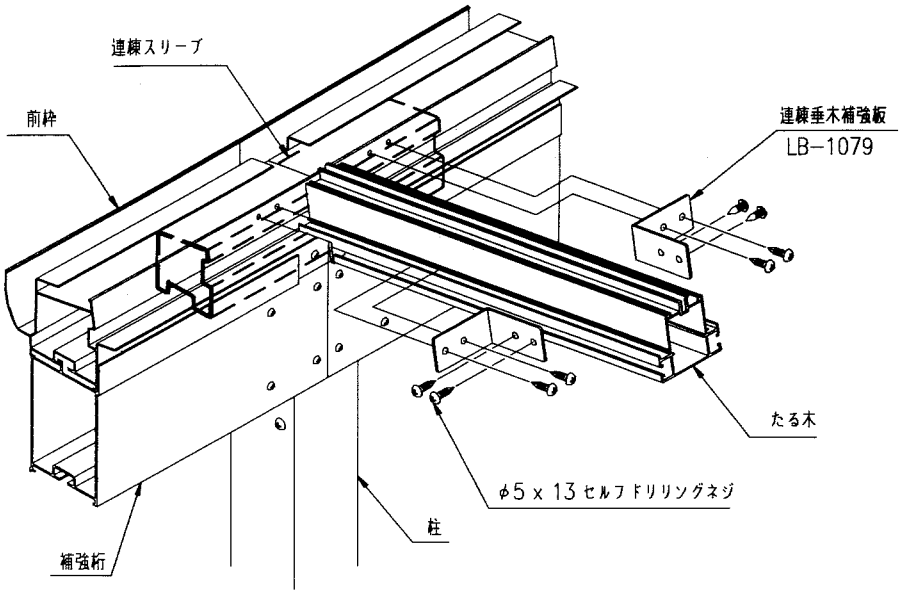




⑤ 連棟たる木補強板の取付

◎ たる木を取付けてから、連棟たる木補強板をガイドにして、前枠・連棟スリーブにφ4.5 の下孔をあけてください。

◎ 連棟たる木補強板をセルフドリリングネジφ5 x 13 で固定してください。



組立手順（柱移動桁タイプ）

① 柱移動桁と柱の組立

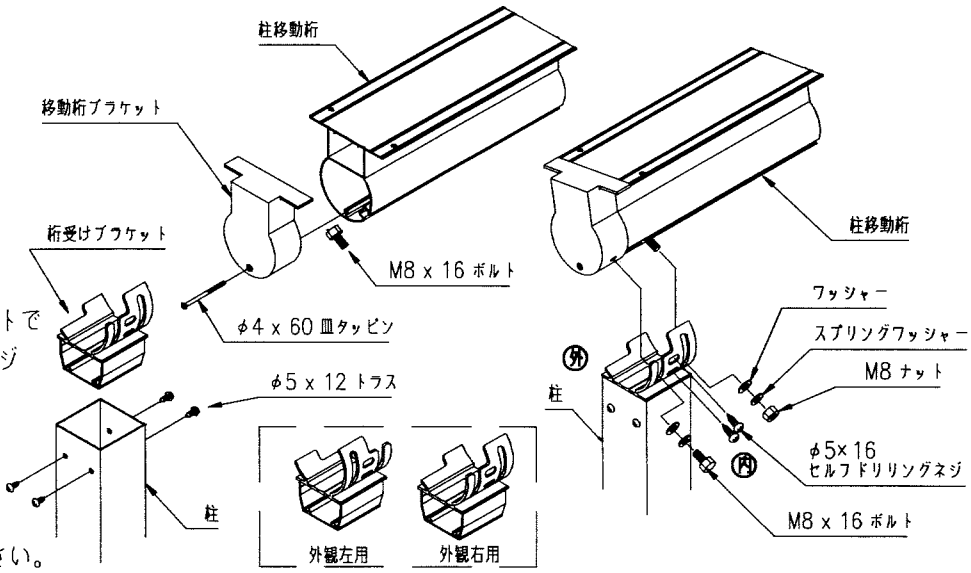
◎ 柱に桁受けブラケットを差し込んで
φ5 x 12 トラスで固定してください。

◎ 柱移動桁に移動桁ブラケットを差し込んで
φ4 x 60 皿タッピンで
固定してください。

◎ 柱移動桁と桁受けブラケットをM8x16ボルトで
固定し、さらにφ5x16セルフドリリングネジ
で2ヶ所止めて下さい。

⚠注意

桁受けブラケットには、左右があります。
切り欠きのある方を側枠側にして取付けてください。

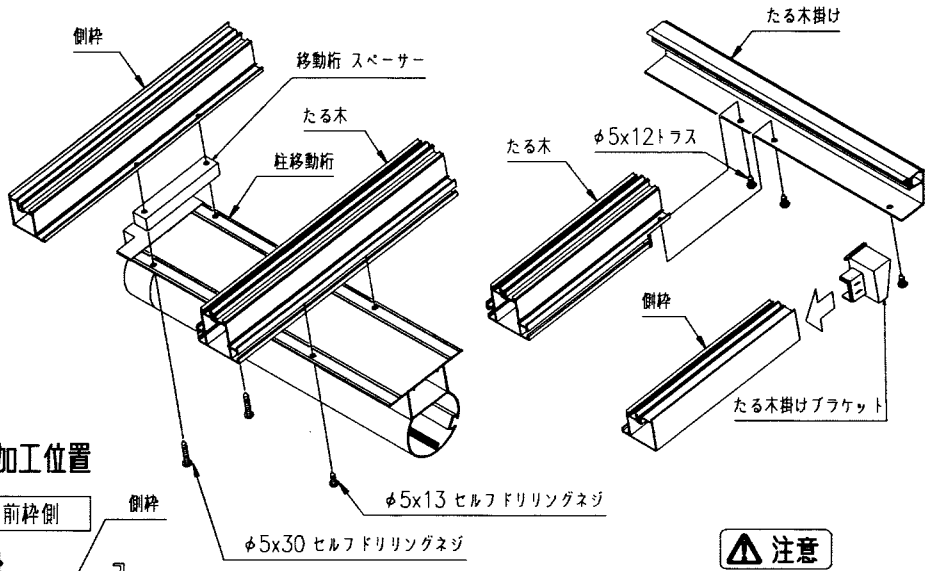


② 側枠・たる木と柱移動桁の組立

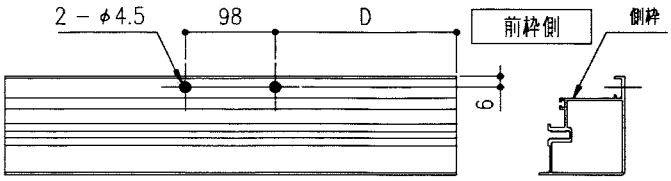
◎ 側枠の軀体側に、たる木掛けブラケットを
はめ込んでください。

◎ 側枠をたる木掛けにφ5 x 12 トラスで
固定した後、側枠と柱移動桁をφ5 x 30
セルフドリリングネジで固定してください。

◎ たる木をたる木掛けにφ5 x 12 トラスで
固定した後、たる木と柱移動桁をφ5 x 13
セルフドリリングネジで固定してください。



300及び305mm 柱移動した場合のたる木 加工位置



	共 通
300mm移動時のD寸法	204.5
305mm移動時のD寸法	209.5

⚠注意

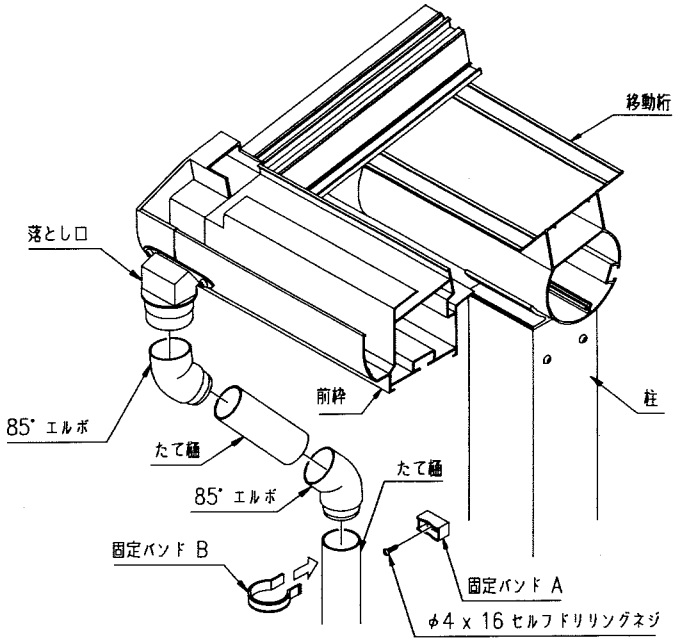
組立の前に側枠を加工
してください。

③ 雨樋の組立

◎ 落とし口ジョイントに 85° エルボを取付けて
移動した柱に合わせてジョイントしてください。

⚠注意

◎ 雨樋の接合面には、必ず付属の
接着材を塗布してください。



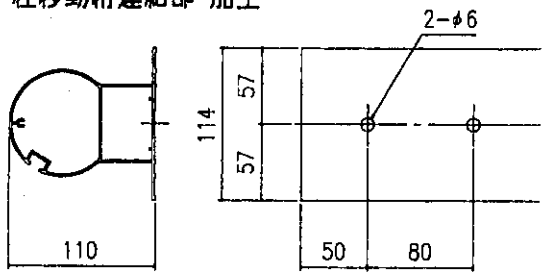
組立手順 （柱移動桁タイプ）

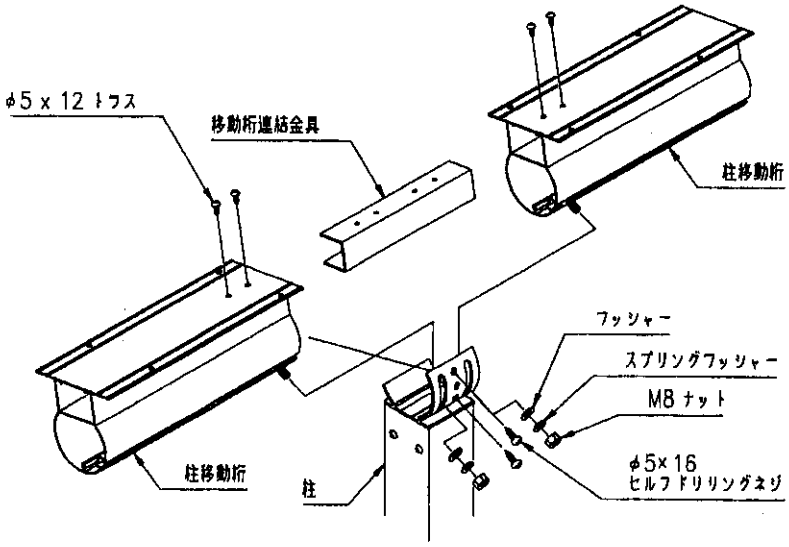
④ 連棟の場合の組立

◎ 柱移動桁の連結部にφ6 孔明け 加工をしてください。

◎ 移動桁連結金具を、柱移動桁に差し込みφ5 x 12 トラスで固定してください。

柱移動桁連結部 加工

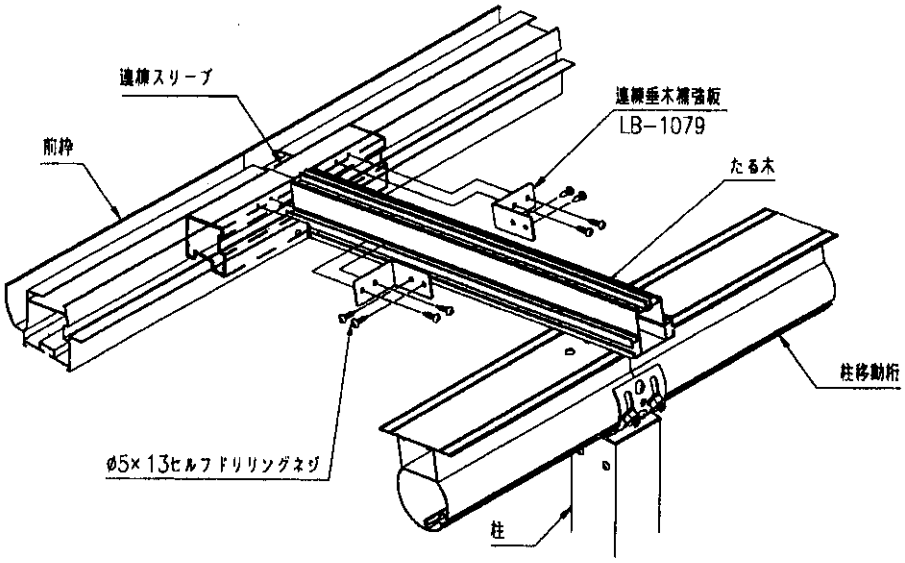




⑤ 連棟たる木補強板の取付

◎ たる木を取付けてから、連棟たる木補強板をガイドにして、前枠・連棟スリーブにφ4.5 の下孔をあけてください。

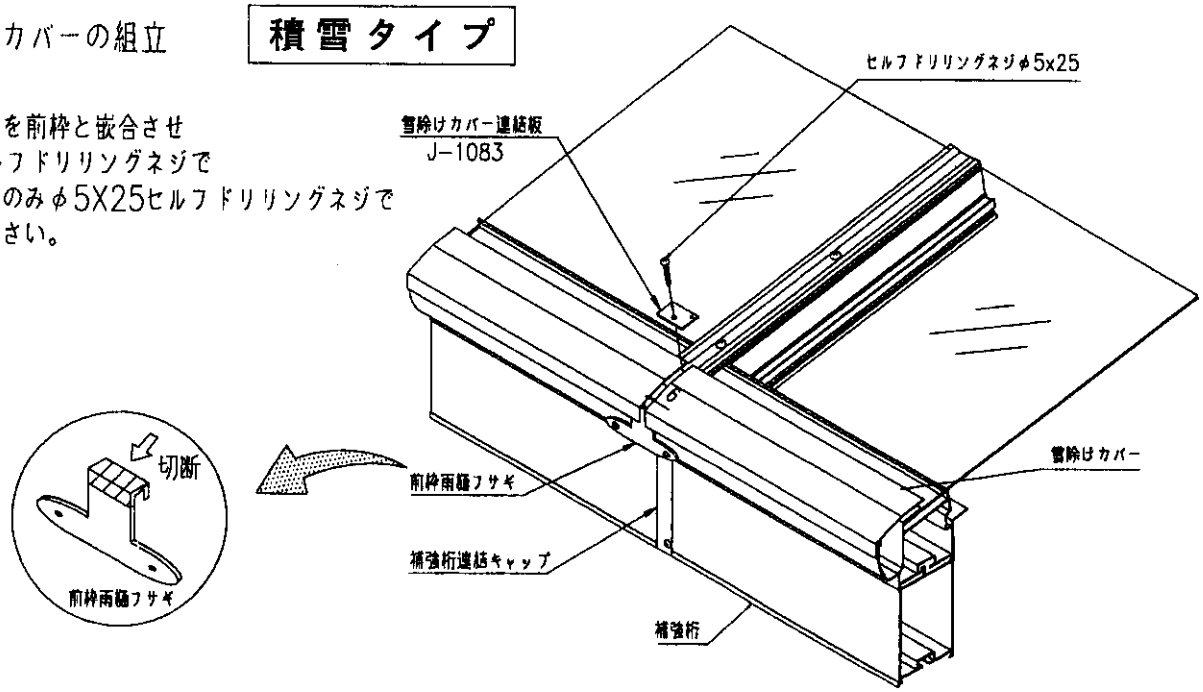
◎ 連棟たる木補強板をセルフドリリングネジφ5 x 13 で固定してください。



⑥ 雪除けカバーの組立

積雪タイプ

◎ 雪除けカバーを前枠と嵌合させφ5X16セルフドリリングネジで端部・連棟部のみφ5X25セルフドリリングネジで固定してください。



組立手順（バルコニー接続タイプ）

プロシードとの接続

◎ プロシード 桁に接続柱ブラケットを
笠木の端部より 200mm 内側に
φ4 x 19 セルフドリリングネジで
固定してください。

◎ 接続柱に笠木柱ブラケットを
M8 x 90 ボルトで固定してください。

◎ 接続柱を接続柱ブラケットに
M8 x 100 ボルトで固定してください。

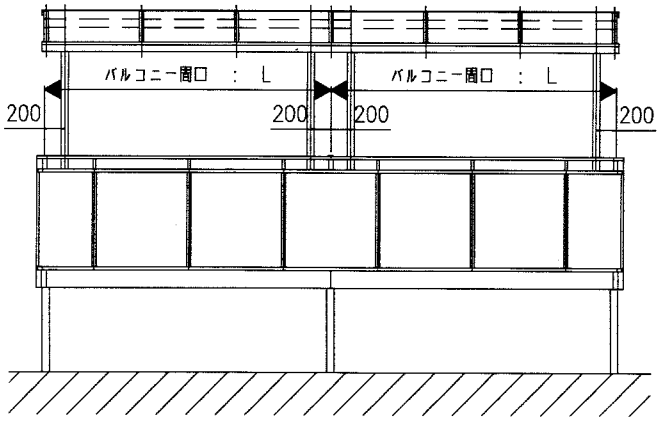
◎ 接続柱の垂直を確認して
笠木・柱ブラケットを笠木に
φ4 x 19 セルフドリリングネジで
固定してください。

◎ 連棟部の接続柱は、連結部 振り分けで 2 本入ります。

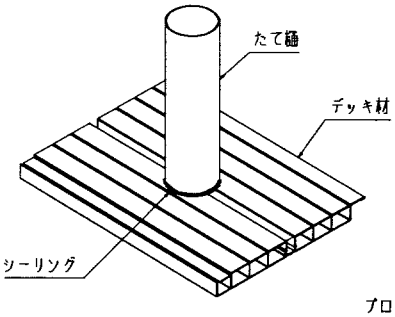
◎ テラスのたて樋がくる位置に
デッキ材にφ43の孔をあけてください。

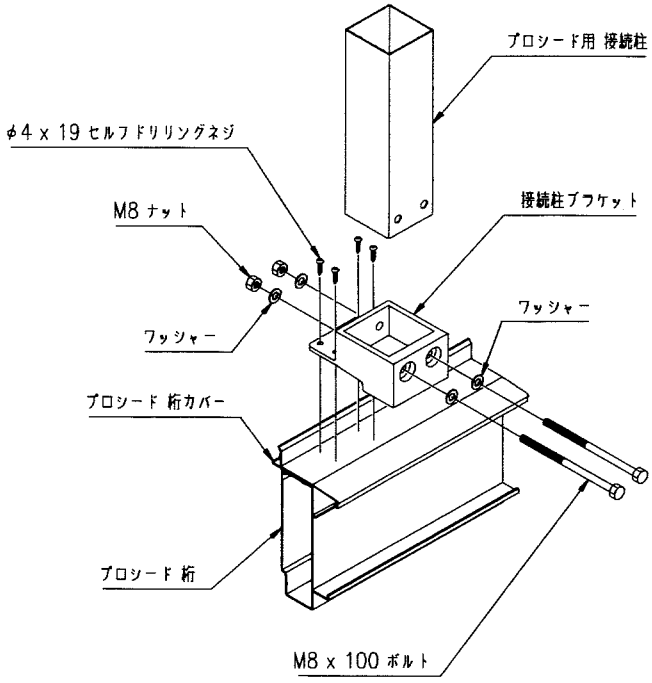
◎ デッキ材の孔にたて樋を通し
プロシードの柱に固定してください。

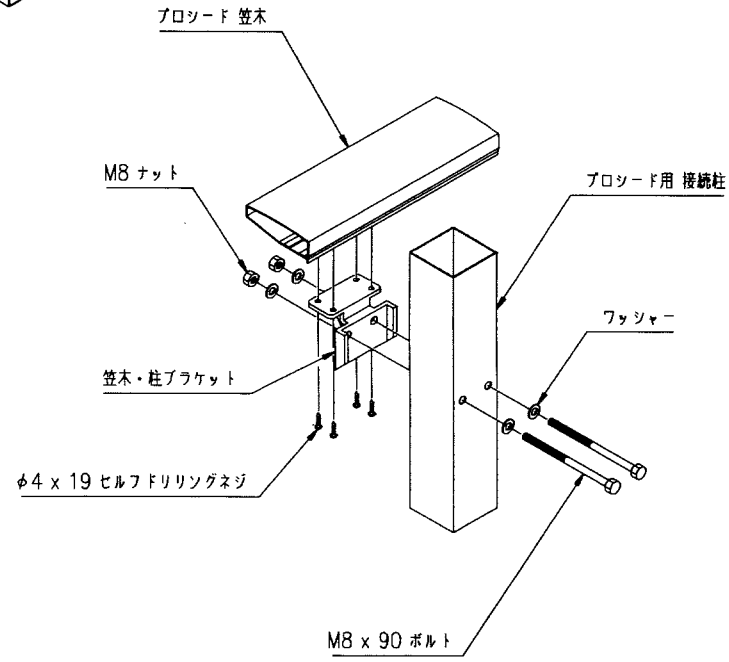
◎ たて樋とデッキ材の隙間を
シーリング処理してください。



	関東間 1.0 間	関東間 1.5 間	関東間 2.0 間	関東間 2.5 間	関東間 3.0 間	関東間 3.5 間	関東間 4.0 間
バルコニー間口 : L	1818	2727	3636	4545	5454	6363	7272





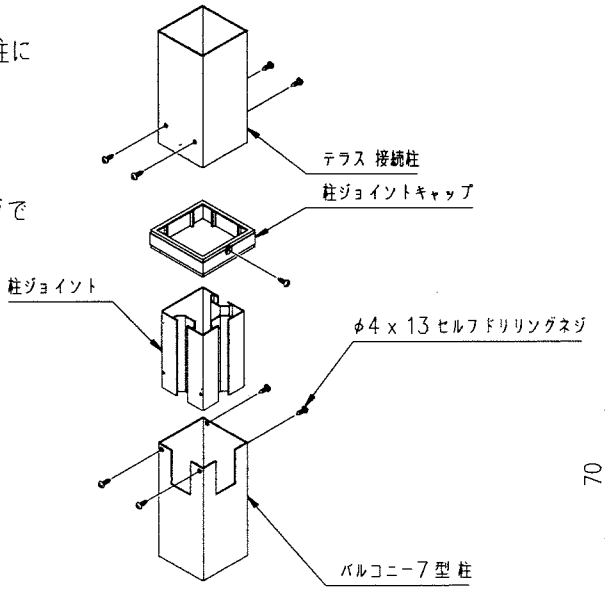


組立手順（バルコニー接続タイプ）

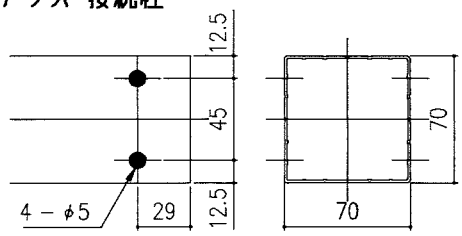
● バルコニー 7 型 との接続

◎ テラス接続柱・バルコニー 7 型柱に
φ5 孔明け 加工をしてください。

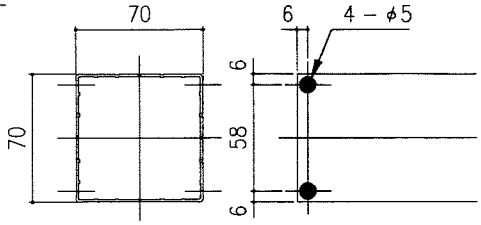
◎ 接合部に、柱ジョイント・
柱ジョイントキャップを入れ
φ4 x 13 セルフドリリングネジで
固定してください。



テラス 接続柱



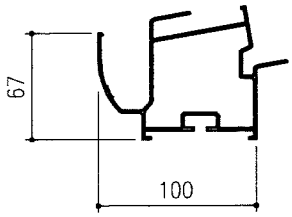
バルコニー 7 型 柱

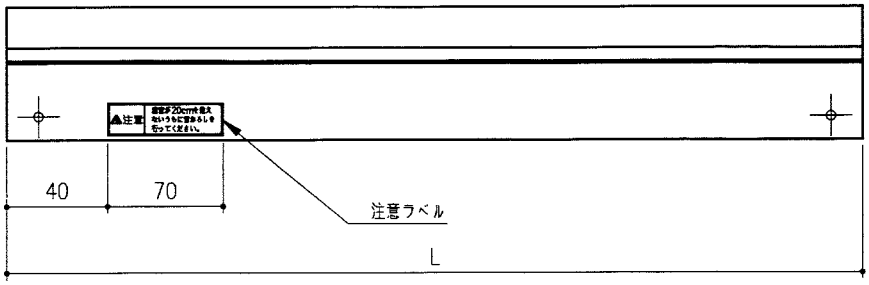


注意ラベルについて

◎ 施工するテラスのタイプによって、標準部品箱に梱包されている注意ラベルを貼り分けてください。
尚、貼る位置は下図を参考にしてください。

＜前枠貼り付け位置＞





注意ラベルの種類	部品 NO	適用タイプ
注意 積雪が20cmを越えないうちに雪おろしを行ってください。	ML − 1063	フォルテラス A 型（・一般タイプ ・一般タイプ 柱移動桁仕様 ・大型タイプ ・大型タイプ 柱移動桁仕様）
注意 積雪が50cmを越えないうちに雪おろしを行ってください。	ML − 1065	フォルテラス A 型（・積雪タイプ ・積雪タイプ 柱移動桁仕様）

※ 大型タイプ（ 7 ～ 10 尺 ）、 積雪タイプ （ 3 ～ 6 尺 ）

基本納まり図（一般タイプ 2.5間 単体）

● 基本縦断面図

10°
屋根巾
たる木掛け
コーチスクリュー
φ6 x 70
31
53
中骨
側枠
たる木
屋根材
たる木カバー
前枠
30
12
12
18
17
3R : 413 , 4R : 565
5R : 478 , 6R : 579
5R : 479 , 6R : 581
3R : 413 , 4R : 565
5R : 478 , 6R : 579
A
H + A
67
110
補強桁
35
M8 x 16 ボルト
15
40
15
60
70
φ5 x 12 トラス
柱
高さ : H
出巾 : D

● 基本横断面図

屋根長さ
2
40
φ5 x 12 トラス
40
たる木カバー
40
コーチスクリュー
φ6 x 70
40
2
36
47.4
側枠
18
22
26
6
たる木
6
52
6
6
52
6
たる木ピッチ :P
6
26
22
18
前枠ブラケット
前枠
補強桁キャップ
補強桁
M8 x 16 ボルト
柱固定金具
B
70
φ5 x 12 トラス
柱
70
B
高さ H : 2600
間口 : L

	関東間 2.5 間	関西間 2.5 間
B	5	34

基本納まり図（積雪タイプ）

● 基本縦断面図

10°
屋根巾
たる木掛け
コーチスクリュー
φ6 x 70
31
53
中骨
側枠
たる木
屋根材
たる木カバー
前枠
20
18
17
12
12
3R : 413 , 4R : 565
5R : 478 , 6R : 579
5R : 479 , 6R : 581
3R : 413 , 4R : 565
5R : 478 , 6R : 579
A
H + A
67
110
補強桁
35
M8 x 16 ボルト
15
40
15
60
70
φ5 x 12 トラス
柱
高さ : H
出巾 : D

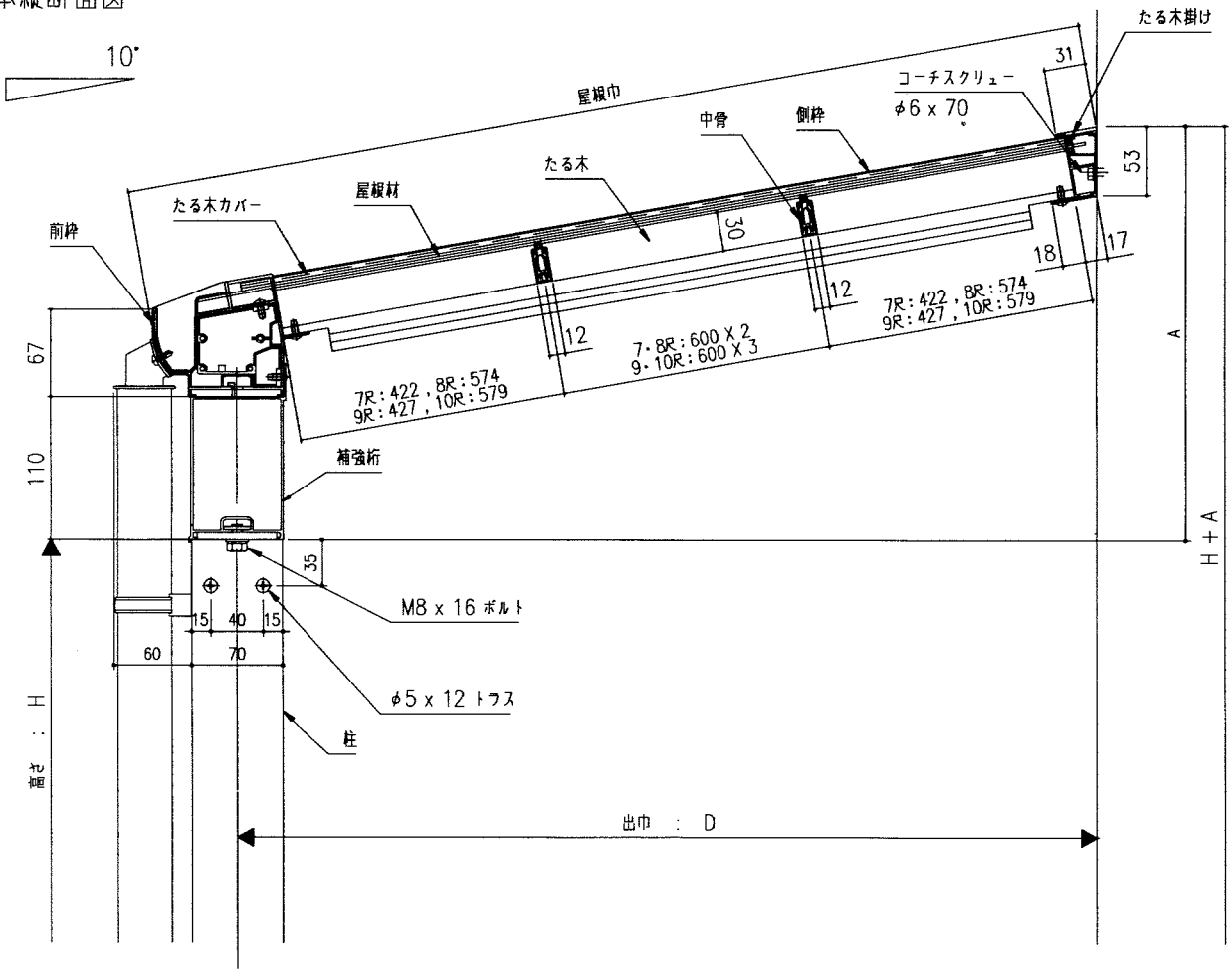
● 基本横断面図

屋根長さ
2
40
φ5 x 12 トラス
40
たる木カバー
40
40
コーチスクリュー
φ6 x 70
40
2
36
47.4
側枠
18
22
26
6
たる木
6
52
6
6
52
6
6
52
6
6
26
22
18
中間たる木
455.5
455.5
たる木ピッチ :P
前枠ブラケット
前枠
補強桁キャップ
補強桁
M8 x 16 ボルト
柱固定金具
B
70
φ5 x 12 トラス
柱
70
B
高さ H : 2600
間口 : L

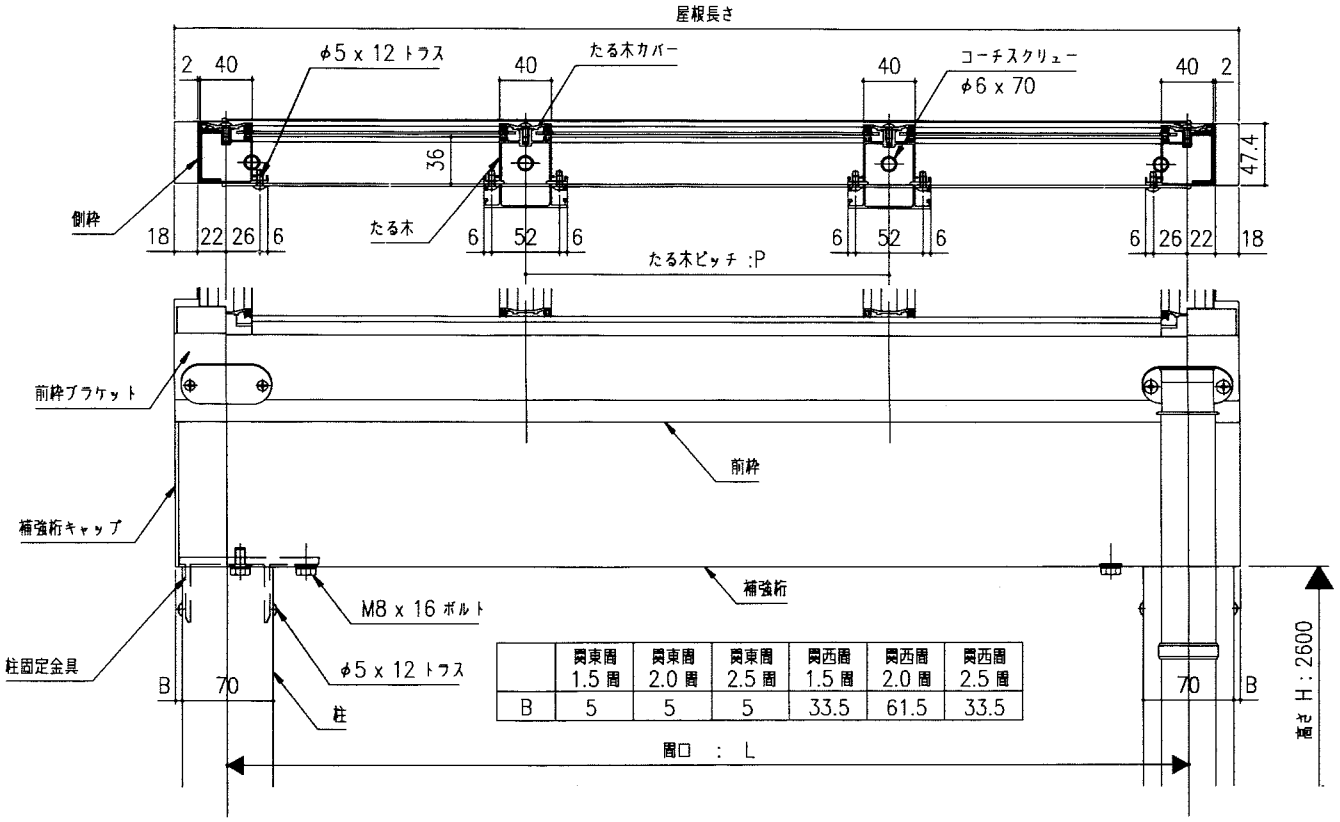
	関東間 1.5 間	関東間 2.0 間	関東間 2.5 間
B	5	5	5

基本納まり図（大型タイプ）

● 基本縦断面図



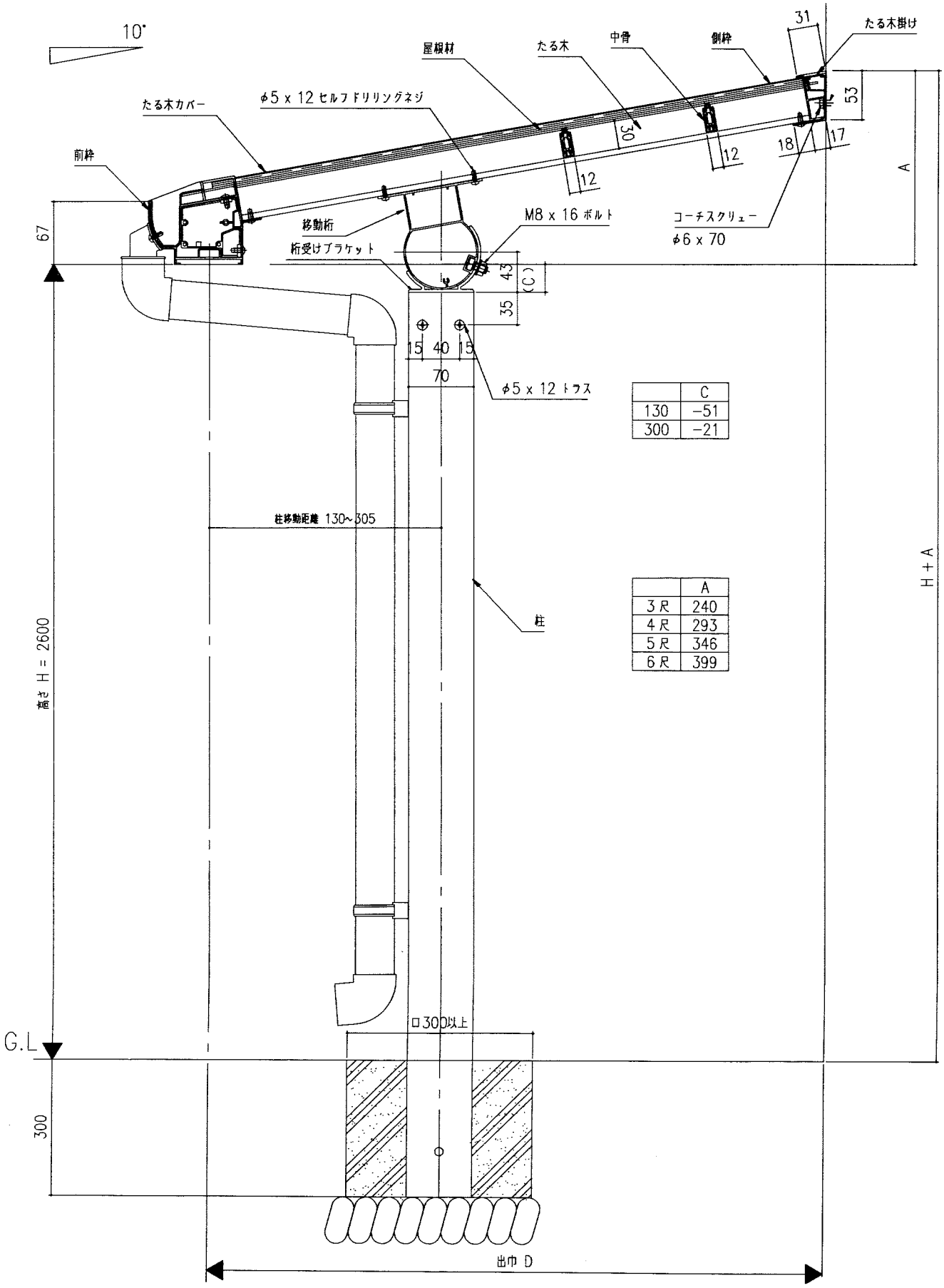
● 基本横断面図



	関東間 1.5 間	関東間 2.0 間	関東間 2.5 間	関西間 1.5 間	関西間 2.0 間	関西間 2.5 間
B	5	5	5	33.5	61.5	33.5

基本納まり図（一般タイプ 2.5間 単体）

● 柱移動縦断面図

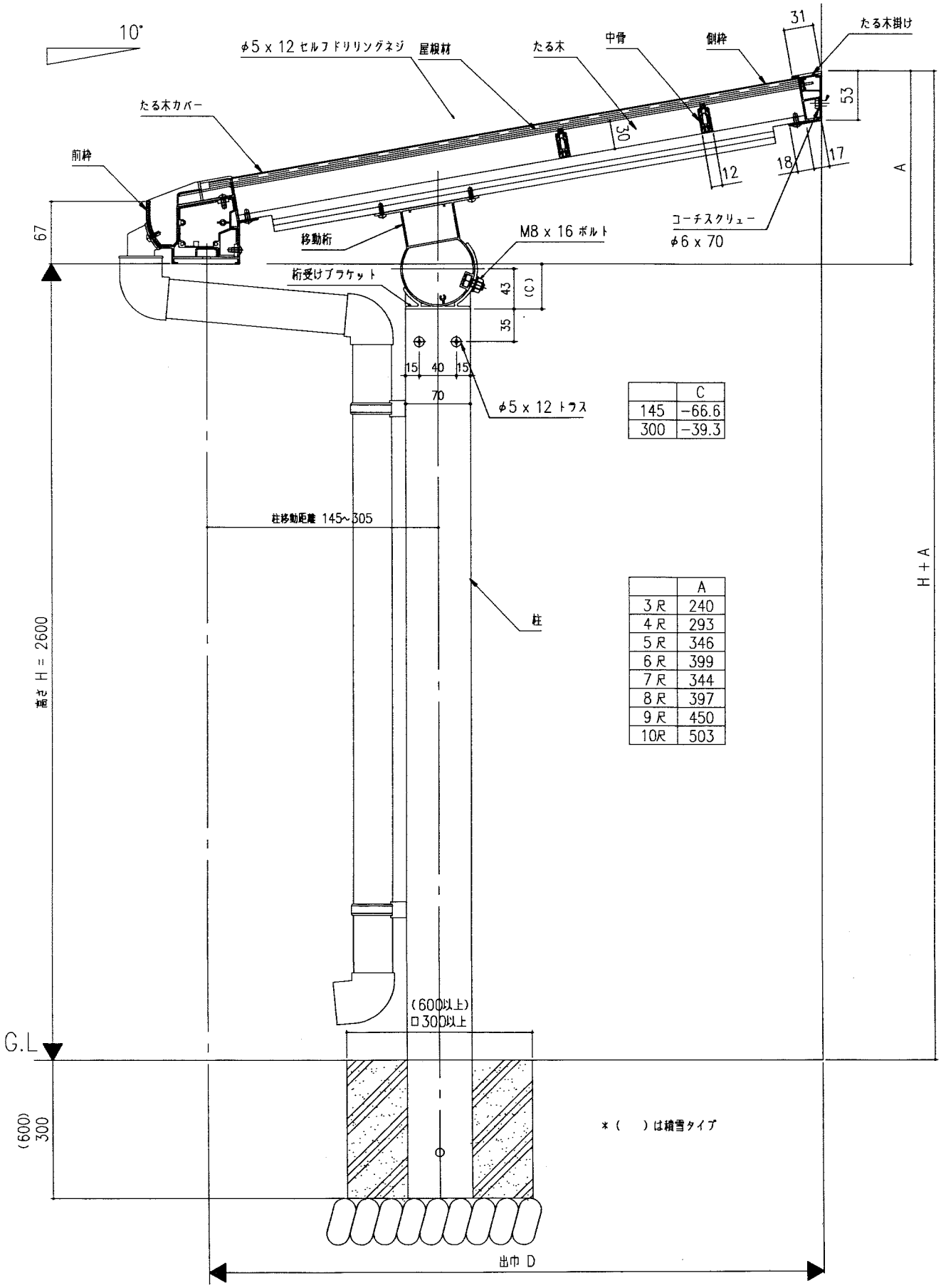


	C
130	−51
300	−21

	A
3尺	240
4尺	293
5尺	346
6尺	399

基本納まり図（大型・積雪タイプ）

● 柱移動縦断面図



	C
145	−66.6
300	−39.3

	A
3尺	240
4尺	293
5尺	346
6尺	399
7尺	344
8尺	397
9尺	450
10尺	503

＊（　）は積雪タイプ

※シーリング関係資料

注意：下記内容は参考資料とし商品ごとの性能は製造メーカーに問い合わせください。

●シーリング材の性能比較　　○最適　△適　×不可

			シーリング材の種類					
硬化方法			湿気硬化			乾燥硬化		非硬化
項　目			シリコン系	変成シリコン	ウレタン系	アクリル系	ブチルゴム系	油性コーキング
性能	耐候性		○	△	△	△	×	×
性能	耐久性		○	△	△	△	×	×
性能	塗　装		×	△	△	△	×	×
用途	外壁	窯業系サイディング	×	○	○	△	×	×
用途	外壁	金属系サイディング	○	○	○	×	×	×
用途	外壁	コンクリート	△	○	△	△	×	△
用途	外壁	ＡＬＣ	×	△	○	○	×	×
用途	材料	アルミサッシ枠	○	○	×	×	×	×
用途	材料	ガラス	○	×	×	×	×	×
用途	材料	アクリル	▲	×	×	×	×	×
用途	材料	ポリカーボネイト	▲	×	×	×	×	×
用途	材料	硬質塩化ビニル	△	△	△	△	△	△
用途	材料	木　材	△	△	△	△	△	△

注意：▲はアルコール系を使用してください。

：シーリング材・プライマーは、被着体とシーリング材・プライマーとの関係及び有効期限を確認して使用してください。

●プライマー

用途…プライマーは被着体へのシーリングの接着性を向上させるために使用する。

シーリング・プライマー製造又は販売会社名（参考）

オート化学工業株式会社	サンライズMSI株式会社	住友スリーエム株式会社	世界長株式会社
コニシ株式会社	シャープ化学工業株式会社	積水化学工業株式会社	東芝シリコーン
三洋工業株式会社	信越化学工業株式会社	セメダイン株式会社	横浜ゴム株式会社

●マスキングテープ

用途…マスキングテープは、シーリング作業で被着体の汚れ保護及び目地通りのため、目地両面に貼り付ける。

材質…ポリオレフィン等

製造又は販売会社名（参考）	日東電気工業株式会社	住友スリーエム株式会社	カモ井加工紙株式会社

●バックアップ材

用途…シーリング材を２面接着にするために使用する。

材質…ポリエチレン発泡等

製造又は販売会社名（参考）	日立化成工業株式会社	積水化学工業株式会社	イノアック株式会社

●へら

用途…へらは、シーリング材を目地部に隙間なく充填するために使用する。

材質…ステンレス、竹等